

[トピックス]

2026 年度第 1 回気候変動耐性ビール大麦 コンソーシアム現地検討会を開催しました

2026 年 4 月 14～15 日に「気候変動耐性ビール大麦コンソーシアム現地検討会」が宇都宮市で開催されました。14 日は当センターにおいて、気候変動に強く多収なビール大麦品種の育成を目標に、ビール大麦合同比較試験結果を踏まえた品質検討会が行われ、活発な議論が展開されました。その後、当センターの麦ほ場において現地検討会が行われ、栽培条件・生育状況等の確認を行いました。翌 15 日はサントリーモルティング株式会社において、麦芽製造施設見学が行われ、普段は見ることのできない施設を見学できる貴重な機会となりました。

本検討会は、ビール会社やコンソーシアム参画機関等、産官学の各関係機関が一堂に会した貴重な機会となり、様々な意見交換を通じて、大変有意義な 2 日間となりました。

※本検討会は生研支援センター「革新的新品種開発加速化緊急対策のうち政策ニーズに対応した革新的新品種開発(提案公募型)」事業の一環として実施しました。



写真 1 4 月 14 日現地検討会



写真 2 4 月 15 日麦芽製造施設見学
(麦類研究室)

[トピックス]

高山早紀主任、熊倉由樹技師が園芸学会若手優秀発表賞を受賞！

園芸学会令和 8 年度春季大会 (令和 8 (2026) 年 3 月 21～22 日) において、生物工学研究室の高山主任は「アジサイの八重咲き性および手まり咲き性を迅速に判別可能な PACE マーカーの開発」、熊倉技師は「栽培イチゴにおけるイチゴ萎黄病耐病性を判定できる PACE マーカーの開発と実生苗の大規模選抜の検証」の題名で発表を行い、その実績と発表が評価され、園芸学会若手優秀発表賞 (ポスター発表部門) を受賞しました。

【受賞者のコメント】

研究に携わってくださった皆様、発表内容のブラッシュアップに御協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。魅力あるアジサイ新品種をいち早くお届けできるよう、今後も精進してまいります (高山主任)。

皆様のご指導の賜物として、このような素晴らしい賞をいただき、大変光栄に存じます。今後も、イチゴの新品種開発のさらなる効率化に向け、研究に励んでまいります (熊倉技師)。

(生物工学研究室)



写真 園芸学会若手優秀発表賞
を受賞した熊倉技師 (左)
と高山主任 (右)